



メール受信シナリオ作成マニュアル

NTTアドバンステクノロジー株式会社

目次

1 はじめに.....	1
1.1 プロトコル	1
1.2 認証方式.....	1
1.3 商標について.....	2
1.4 本書に関する注意	2
1.5 制限事項.....	2
2 シナリオ作成手順.....	3
2.1 ライブラリの表示	3
2.2 メール受信設定.....	5
2.2.1 メール管理タブのメール受信設定.....	5
2.2.2 メール受信設定インポート	10
2.2.3 メール受信設定.....	13
2.3 メール受信	18
2.4 メール選択	20
2.5 メール情報取得.....	23
3 ライブラリ・プロパティの一覧.....	26
3.1 メールフォルダ同期.....	26
3.2 メール処理済み削除.....	26
3.3 メール削除	27
3.4 メール受信	27
3.5 メール受信設定.....	27
3.6 メール受信設定インポート.....	27
3.7 メール情報コピー	28
3.8 メール情報取得.....	29
3.9 メール状態変更.....	29
3.10 メール選択	29
3.11 添付ファイル名取得.....	29

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

1 はじめに

本説明書では、WinActor を使ってメール受信するための、シナリオ作成手順について説明します。

1.1 プロトコル

WinActor を使ってメール受信する際の通信プロトコルについて次の表に示します。

表 1-1 プロトコル

No	通信プロトコル	説明
1	POP3	Post Office Protocol Version3。 TCP/IP ネットワークにおいて、電子メールを受信するためのプロトコル。 ※STARTTLS を利用することも可能です。
2	POP3S	POP3 over SSL/TLS。 POP3 の伝送路を、SSL/TLS を組み合わせて暗号化するためのプロトコル。

1.2 認証方式

接続先メールサーバとの認証方式について次の表に示します。

表 1-2 認証方式

No	認証方式	説明
1	USER/PASS 認証	ユーザ名とパスワードによる認証方式。 パスワードは平文のままサーバに送信されます。
2	APOP 認証	ユーザ名とパスワードによる認証方式。 パスワードは暗号化されてサーバに送信されます。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

1.3 商標について

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では TM、®、©マークは省略しています。

- WinActor は NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows^{※1}、Microsoft Edge、Excel、VBScript^{※2} は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※1 Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
※2 VBScript の正式名称は、Microsoft Visual Basic Scripting Edition です。
- その他の記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1.4 本書に関する注意

- 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示「Copyright © 2013–2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION」の変更、削除をすることはできません。本書の著作権は NTT 株式会社及び NTT アドバンステクノロジー株式会社に帰属します。
- 本書では、Windows の操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoft が提供しているドキュメントなどをご覧ください。

1.5 制限事項

メール受信をするにあたっての制限事項は次のとおりです。

- 受信メールには、会議予約メールなどの一部受信できないメールがあります。また、一部の HTML メールも受信することができません。
- 接続先メールサーバは UIDL コマンドに対応している必要があります。UIDL コマンド非対応の場合、エラーメッセージ「メールの受信に失敗しました。」が表示されます。
- 送信日が存在しないメールを受信した場合は、受信日を送信日として扱います。

2 シナリオ作成手順

メール受信のライブラリを使ってメール受信を行います。以下、メール受信するシナリオの作成例として、下記①～④を行うシナリオの作成手順を説明します。

- ①メール受信設定
- ②メール受信
- ③メール選択
- ④メール情報取得

2.1 ライブラリの表示

フローチャート画面のライブラリタブを選択し、「20_メール関連」とその配下に存在する「03_WinActor メール管理」を順にダブルクリックして展開します。

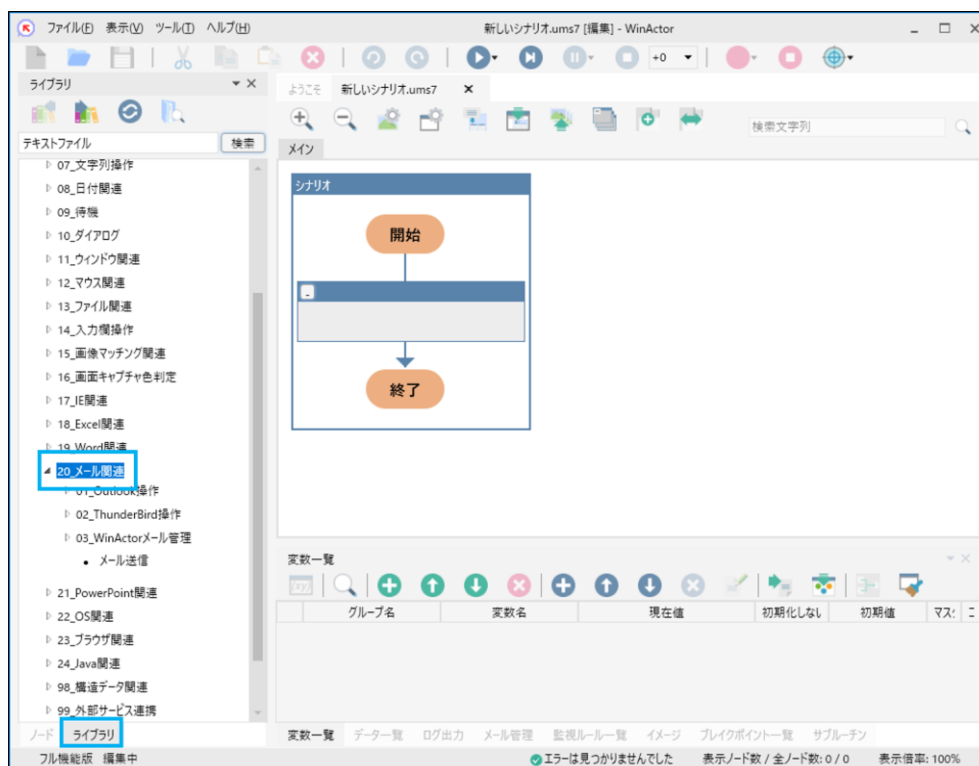


図 2-1 ライブラリタブから「20_メール関連」を展開

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

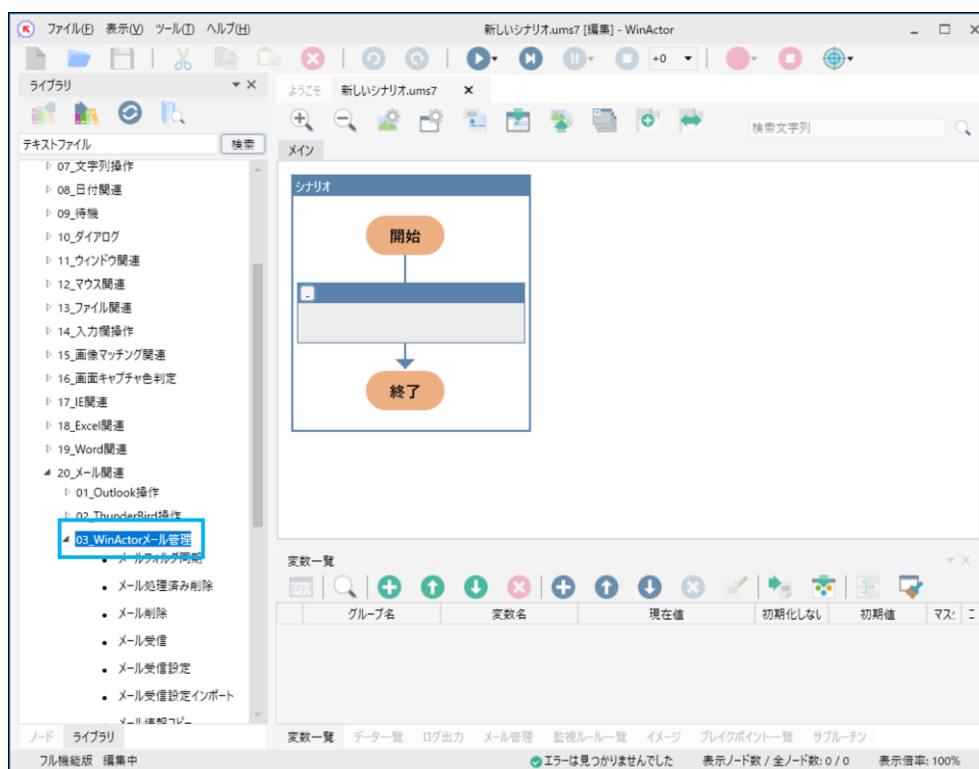


図 2-2 ライブラリタブから「03_WinActor メール管理」を展開

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.2 メール受信設定

メール受信を行うには、メール受信設定を下記のいずれかで行う必要があります。

- ・メール管理画面のメール受信設定
- ・メール受信設定インポートノード
- ・メール受信設定ノード

メール受信ノードを実行する前に、メール受信設定が行われていない場合や、メール保存先に指定したフォルダが存在しない場合は、メール受信で失敗となります。

「添付ファイルの保存について」

初期値では添付ファイルを保存しない設定となっているため、添付ファイルも受信する場合は、「添付ファイルを保存する」にチェックを入れてください。また、添付ファイルを保存する場合でも、初期値では「*.exe *.bat *.vbs *.msi *.jar」が保存対象外となっています。保存する場合は、「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」のチェックを外すか、「拡張子」の指定を変更してください。

2.2.1 メール管理タブのメール受信設定

この章では、メール管理タブを使用したメール受信設定方法について記載します。メール管理タブにて設定した場合は、シナリオにメール受信設定インポートノードやメール受信設定ノードがなくても、メール受信が可能です。

また、設定内容は WinActor にて保存され、次回起動時にも設定された内容で表示されます。

① 「メール管理」タブを選択します。

(メール管理タブについては、操作マニュアルを参照ください。)



図 2-3 メール管理画面の表示

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ② メール管理タブのメール受信パラメータ設定ボタンを押し、メール受信設定プロパティを表示します。

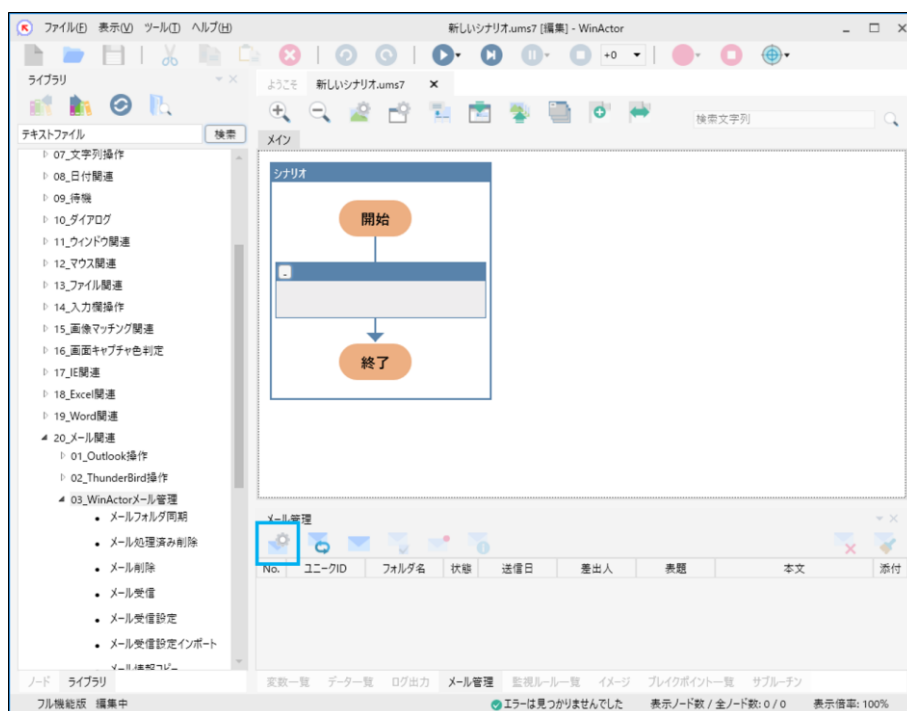


図 2-4 メール管理タブのメール受信設定の表示

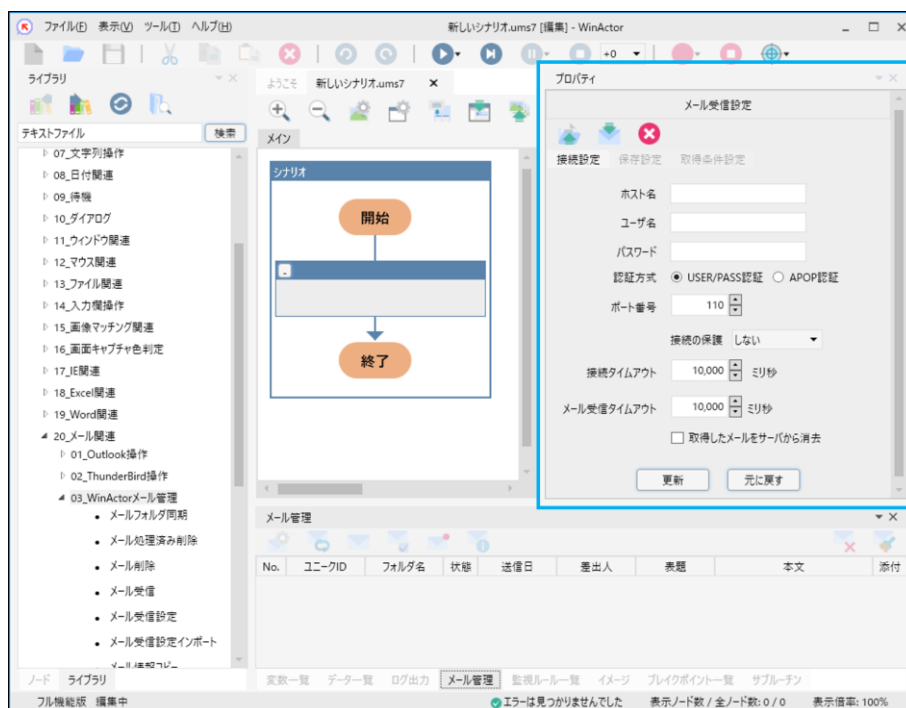


図 2-5 メール受信設定プロパティ(接続設定タブ)

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

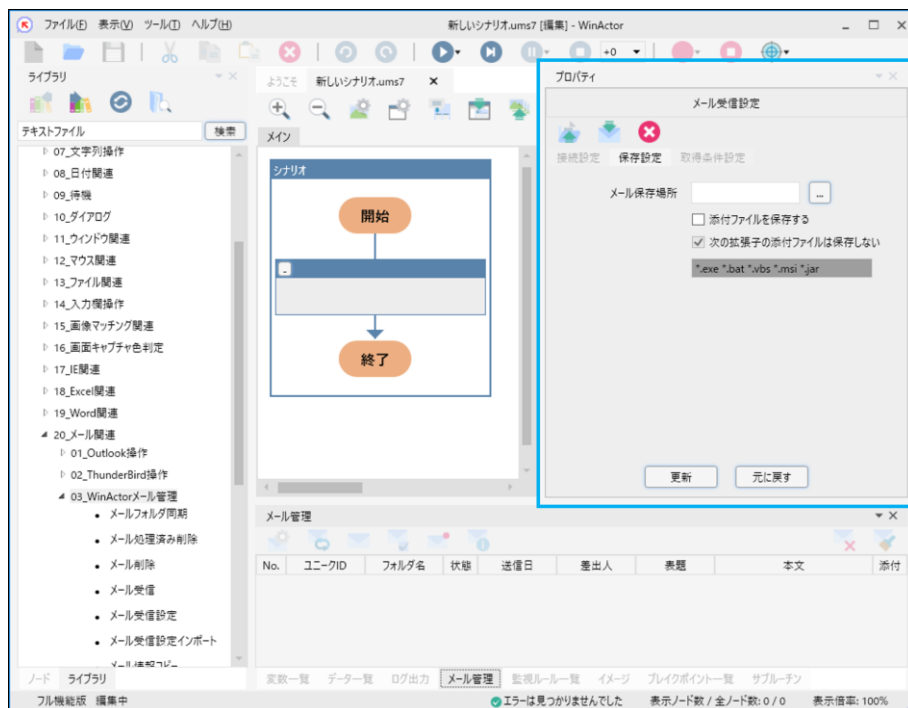


図 2-6 メール受信設定プロパティ(保存設定タブ)

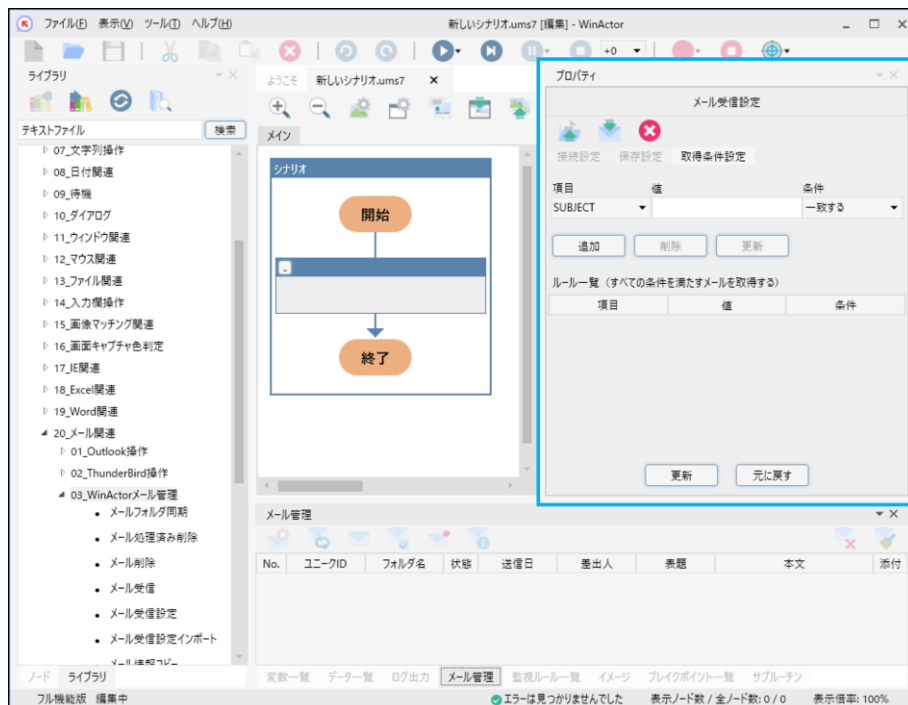


図 2-7 メール受信設定プロパティ(取得条件設定タブ)

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-1 メール受信設定プロパティ(接続設定タブ)

No	項目	説明
1	ホスト名	メールサーバの URL、または IP アドレスを指定します。(必須)
2	ユーザ名	メールサーバにログインするユーザ名を指定します。(必須)
3	パスワード	メールサーバにログインするパスワードを指定します。(必須)
4	認証方式	USER/PASS 認証、APOP 認証から選択します。(必須)
5	ポート番号	メールサーバのポート番号を指定します。(必須)
6	接続の保護	メールサーバ接続時の保護モードを下記から選択します。(必須)
		しない 保護なし(POP3)
		TLS/SSL 保護あり(POP3S)
		STARTTLS 保護あり(STARTTLS)
7	接続タイムアウト	メールサーバへの接続タイムアウトの時間を指定します。
8	メール受信タイムアウト	メールサーバからのメール受信応答のタイムアウト時間を指定します。
9	取得したメールをサーバから消去	メール受信時に受信メールをメールサーバから削除する場合にチェックを付けます。 既に受信済みのメールがメールサーバに残っている場合、それらのメールも削除します。

表 2-2 メール受信設定プロパティ(保存設定タブ)

No	項目	説明
1	メール保存場所	受信メールの格納先フォルダをファイルパスで指定します。(必須) ファイルパスに相対パスを指定した場合、基準パスには WinActor パスとインストールパスのみを使用します。シナリオパスは基準パスとして使用しません。 (ファイルパス、相対パス、基準パスについては、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。)
2	添付ファイルを保存する	メール受信時に添付ファイルを保存する場合にチェックを付けます。
3	次の拡張子の添付ファイルは保存しない	添付ファイルを保存する際に、特定の拡張子ファイルを保存しない場合にチェックを付けます。 添付ファイルを保存するにチェックがある場合のみ、設定が有効となります。
4	拡張子入力欄	「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」で指定する拡張子入力欄です。 拡張子の指定は「*(任意の拡張子)」で行います。半角スペースが区切り文字となり、半角スペースで複数の拡張子を指定できます。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

表 2-3 メール受信設定プロパティ(取得条件設定タブ)

No	項目	説明
1	項目	メールの取得条件の項目を下記から選択します。
		SUBJECT メールの件名
		TO メール宛先アドレス
		FROM メールを送信元アドレス
2	値	条件の内容を 40 文字以内で記載します。
3	条件	No1,2 に対する取得条件を下記から選択します。
		一致する 完全一致
		を含む 部分一致
		で始まる 先頭文字列として一致
		で終わる 末尾文字列として一致
		正規表現 正規表現として一致
4	追加	No1,2,3 の組み合わせをルール一覧に追加します。
5	更新	ルール一覧から選択した情報を更新します。
6	削除	ルール一覧から選択した情報を削除します。
7	ルール一覧	追加した取得条件を表示します。 ※すべての条件を満たすメールを受信します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.2.2 メール受信設定インポート

この章では、メール受信設定インポートノードを使用したメール受信設定方法について記載します。メール管理タブにて設定した内容を、インポートすることでメール受信設定内容をシナリオ上で反映することができます。

「メール受信設定インポート」にてインポートした設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

- ① インポートするファイルを作成するため、メール受信設定プロパティのメール受信設定エクスポートボタンを押し、設定内容をファイルに出力します。
(メール管理タブでの設定は『2.2.1 メール管理タブのメール受信設定』を参照ください。)

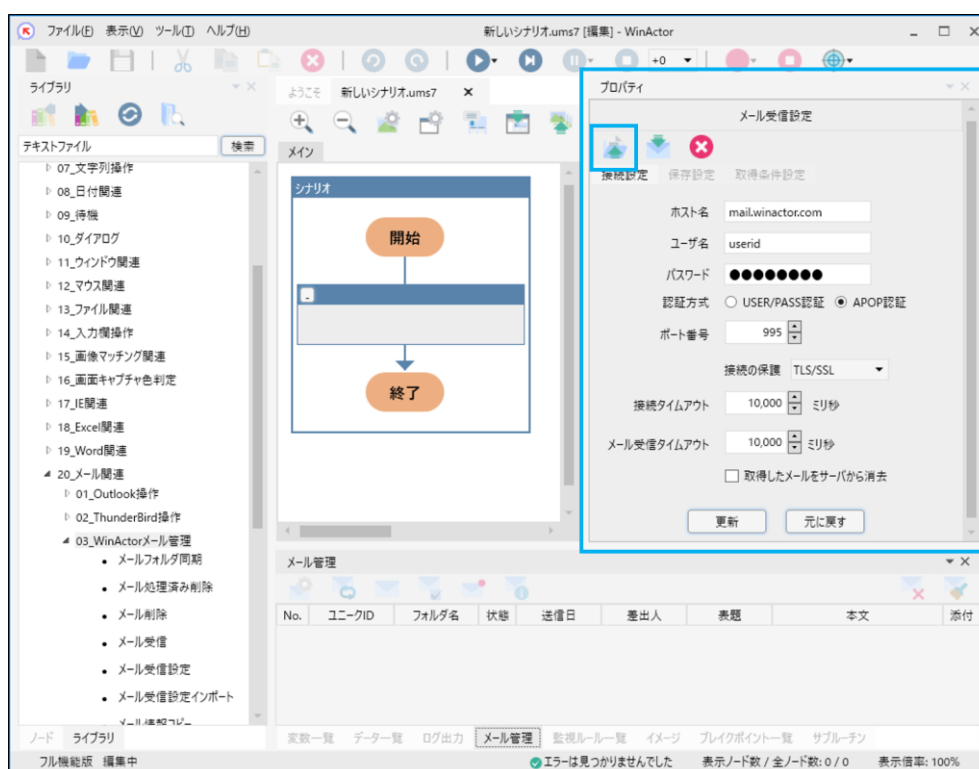


図 2-8 メール受信設定プロパティで設定内容のエクスポート

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

② メール受信設定インポートノードを配置します。

メール受信設定インポートノードは、ライブラリから「メール受信設定インポート」を選択し、シナリオに配置します。

このアクションを実行することで、メール受信に関する設定をインポートします。

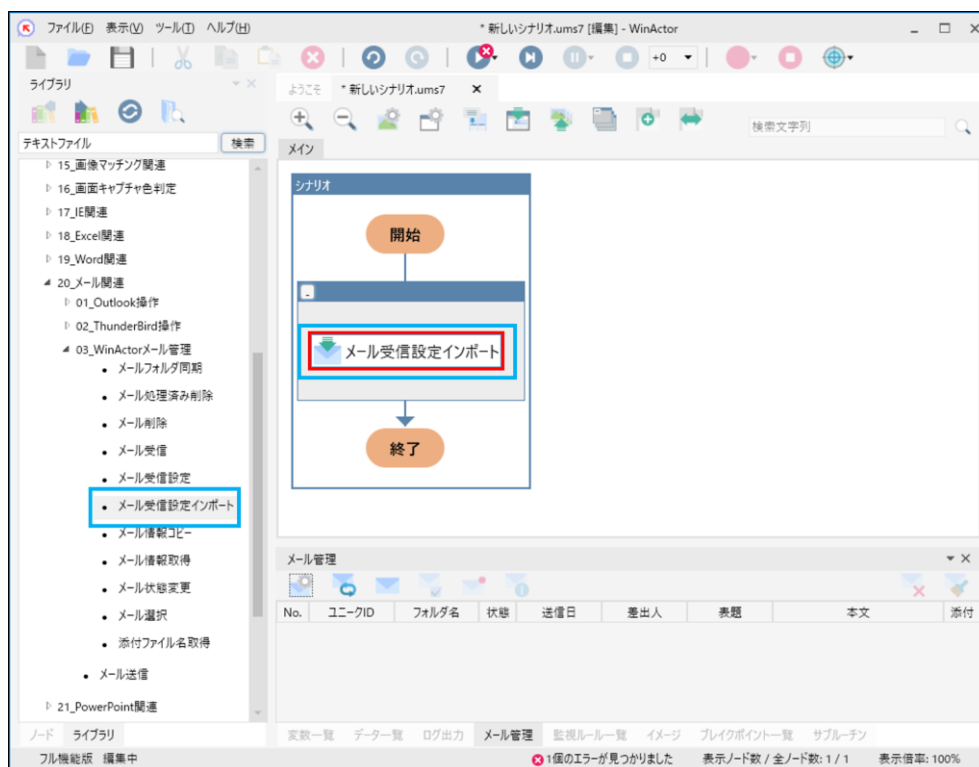


図 2-9 「メール受信設定インポート」をシナリオに配置

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ シナリオに配置した「メール受信設定インポート」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

表示されたプロパティに設定を行います。設定内容は『表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧』を参照ください。

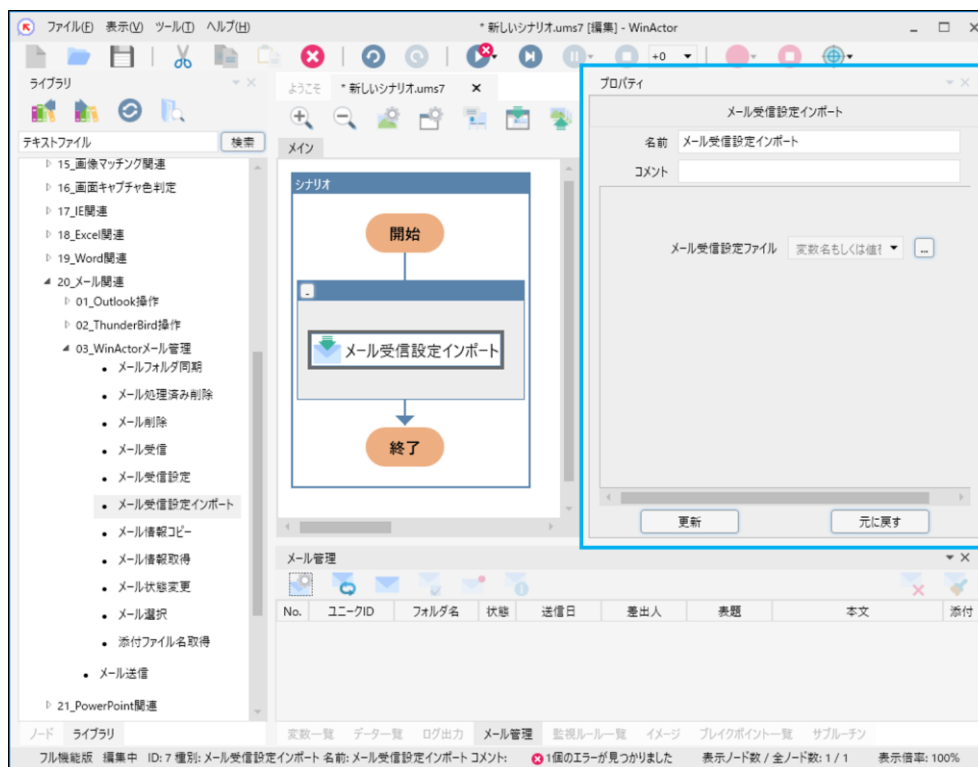


図 2-10 プロパティ - メール受信設定インポート

表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	メール受信設定ファイル	インポートするファイルパスを直接入力、または、変数で指定します。ファイルパスは絶対パスで指定します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.2.3 メール受信設定

この章では、メール受信設定ノードを使用したメール受信設定方法について記載します。

メール受信設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

① メール受信設定ノードを配置します。

メール受信設定ノードは、ライブラリから「メール受信設定」を選択し、シナリオに配置します。
このアクションを実行することで、メール受信に関する設定をします。

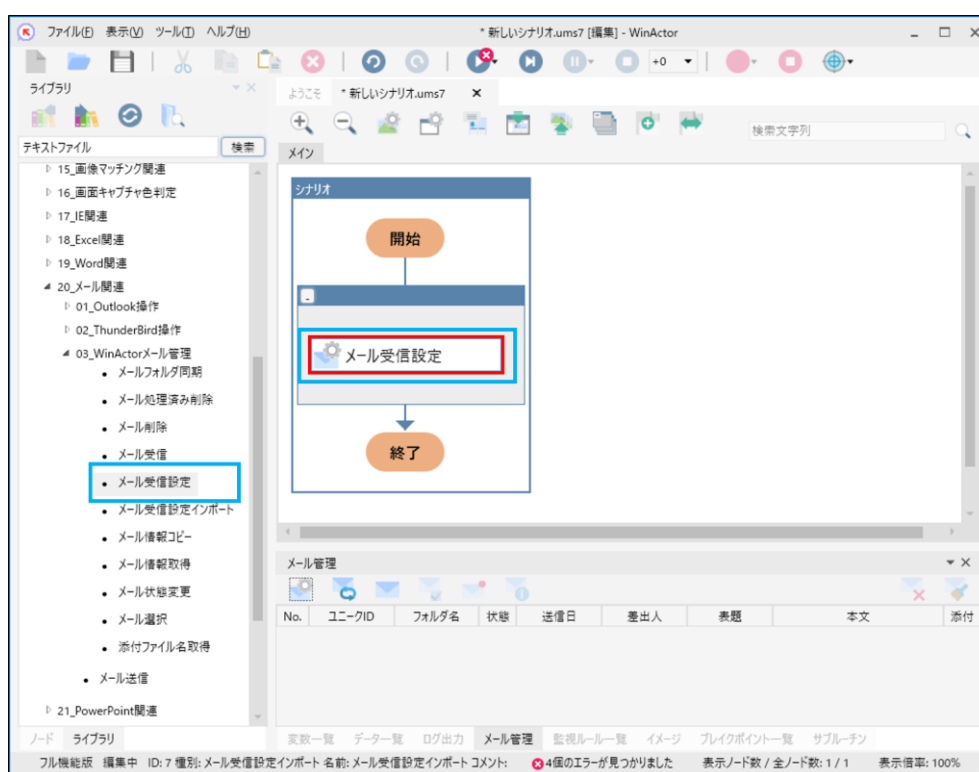


図 2-11 「メール受信設定」をシナリオに配置

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ② シナリオに配置した「メール受信設定」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

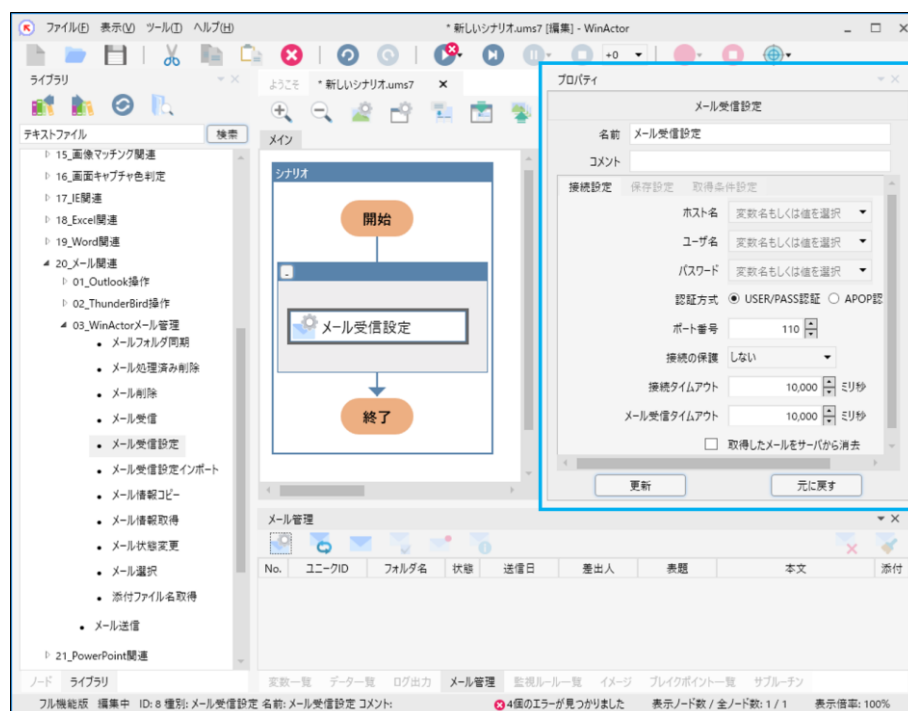


図 2-12 「メール受信設定」プロパティ(接続設定)

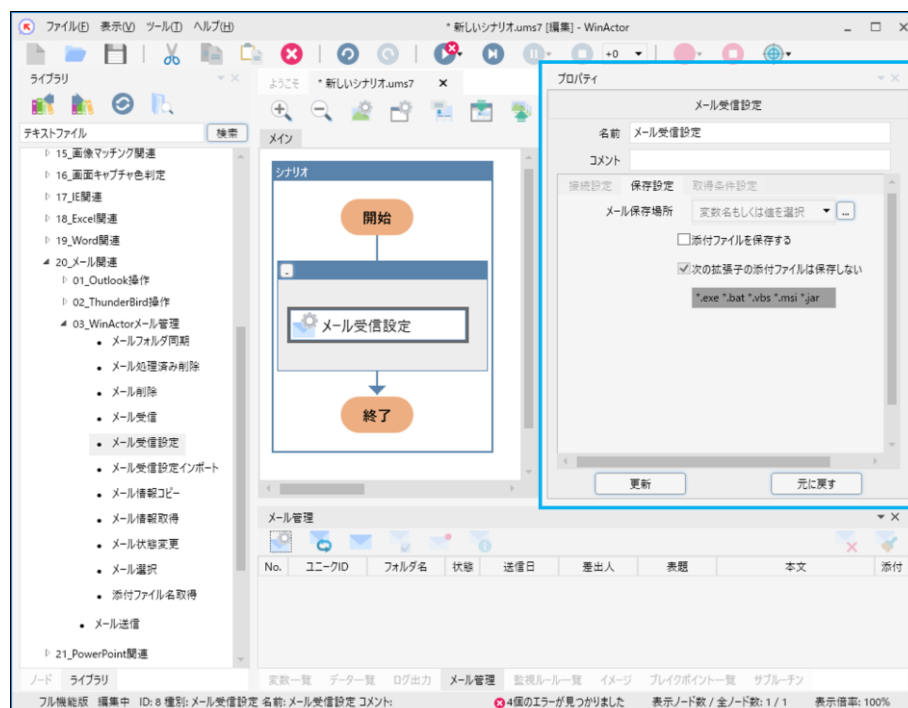


図 2-13 「メール受信設定」プロパティ(保存設定)

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

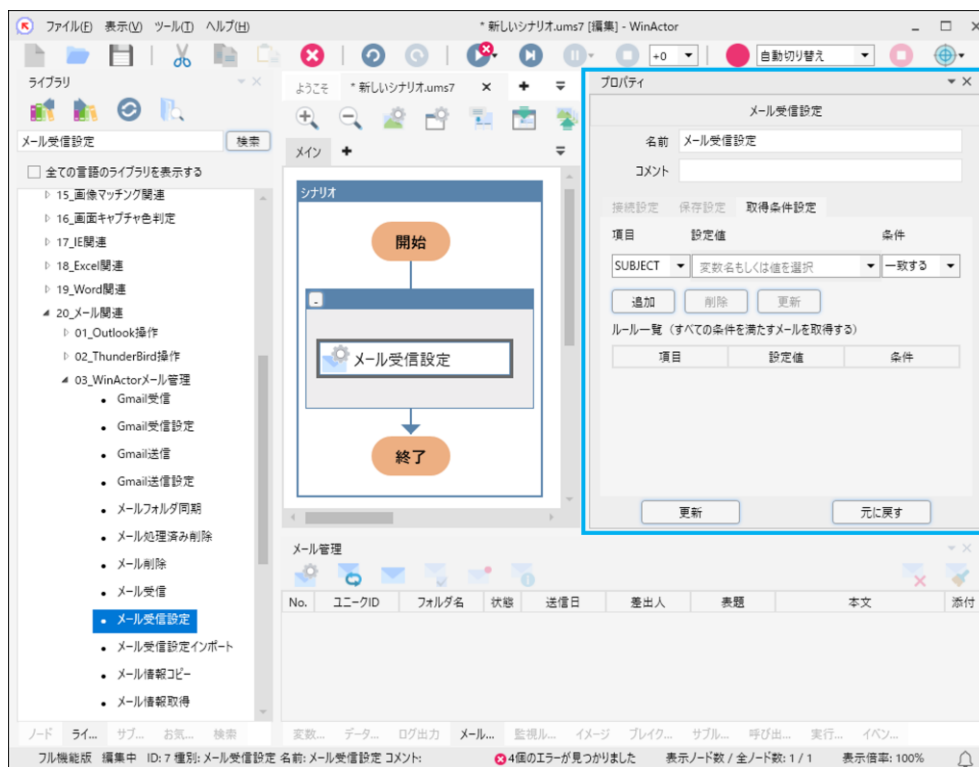


図 2-14 「メール受信設定」プロパティ(取得条件設定)

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-5 「メール受信設定(接続設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	ホスト名	メール受信サーバのホスト名を設定します。 直接入力、または、変数で指定します。
2	ユーザ名	メール受信サーバに接続する際のユーザ名を設定します。 直接入力、または、変数で指定します。
3	パスワード	メール受信サーバに接続する際のパスワードを設定します。直接入力、または、変数で指定します。
4	認証方式	メール受信サーバに接続する際の認証方式を設定します。 詳細は『1.2 認証方式』を参照。
5	ポート番号	メール受信サーバに接続する際の PC 側のポート番号を設定します。 (デフォルトは 110 番)
6	接続の保護	メールサーバ接続時の保護モードを下記から選択します。
		しない 保護なし(POP3)
		TLS/SSL 保護あり(POP3S)
		STARTTLS 保護あり(STARTTLS)
7	接続タイムアウト	メール受信サーバに接続する際のタイムアウト時間を設定します。 (デフォルトは 10,000 ミリ秒) ※21,000 ミリ秒を超える時間を設定した場合、タイムアウト時間は 21,000 ミリ秒になります。
8	メール受信タイムアウト	メール受信する際のタイムアウト時間を設定します。(デフォルトは 10,000 ミリ秒)
9	取得したメールをサーバから消去	メール受信時に受信メールをメールサーバから削除する場合にチェックを付けます。 既に受信済みのメールがメールサーバに残っている場合、それらのメールも削除します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

表 2-6 「メール受信設定(保存設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	メール保存場所	受信したメールを保存するフォルダを指定します。
2	添付ファイルを保存する	チェックが入っている場合に添付ファイルを保存します。
3	次の拡張子の添付ファイルは保存しない	チェックが入っている場合、該当する拡張子の添付ファイルは保存されなくなります。 ※「添付ファイルを保存する」にチェックが入っている場合にのみ有効となる項目です。
4	拡張子入力欄	「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」で指定する拡張子入力欄です。 拡張子の指定は「*(任意の拡張子)」で行います。半角スペースが区切り文字となり、半角スペースで複数の拡張子を指定できます。

表 2-7 「メール受信設定(取得条件設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	項目	メールの取得条件の項目を下記から選択します。
		SUBJECT メールの件名
		TO メール宛先アドレス
		FROM メールを送信元アドレス
2	設定値	条件の内容を 40 文字以内で記載します。
3	条件	No1,2 に対する取得条件を下記から選択します。
		一致する 完全一致
		を含む 部分一致
		で始まる 先頭文字列として一致
		で終わる 末尾文字列として一致
		正規表現 正規表現として一致
4	追加	No1,2,3 の組み合わせをルール一覧に追加します。
5	更新	ルール一覧から選択した情報を更新します。
6	削除	ルール一覧から選択した情報を削除します。
7	ルール一覧	追加した取得条件を表示します。 ※すべての条件を満たすメールを受信します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.3 メール受信

- ① ライブラリから「メール受信」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、メール受信サーバに対して、メール受信の要求を行います。
受信メールには、会議予約メールなどの一部受信できないメールがあります。

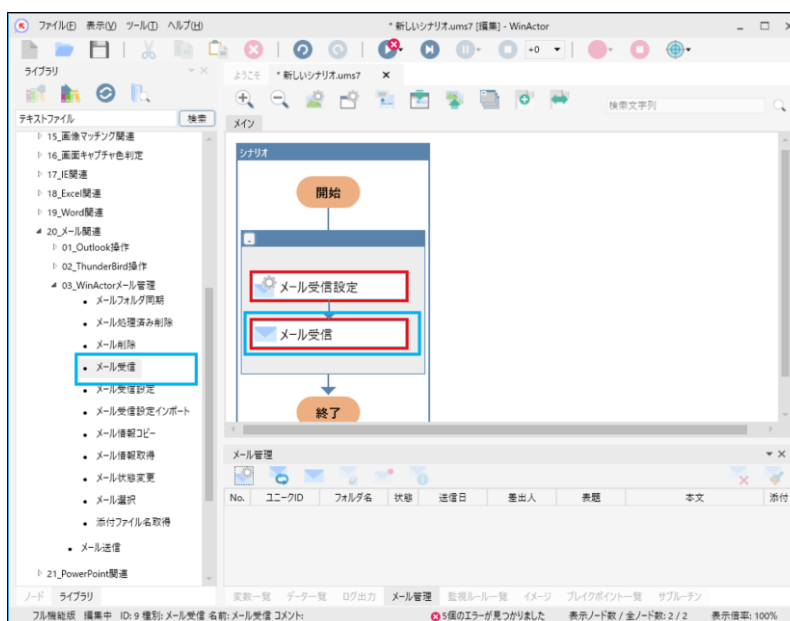


図 2-15 「メール受信」をシナリオに配置

- ② シナリオに配置した「メール受信」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

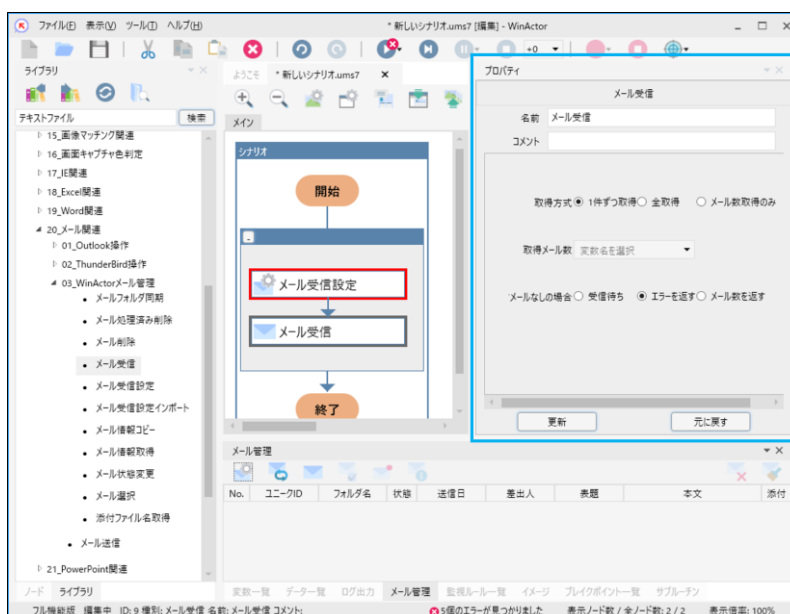


図 2-16 「メール受信」プロパティ

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-8 「メール受信」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明	
1	取得方式	取得方式について下記より選択します。	
		1 件ずつ取得	サーバ上にあるメールを 1 件ずつ取得します。
		全取得	サーバ上にある全メールを取得します。
		メール数取得のみ	サーバ上にあるメール数のみ取得します。
2	取得メール数	取得メール数を格納する「変数名」を指定します。	
3	受信メールなしの場合	受信メールが 0 件だった場合の動作について、下記より選択します。	
		受信待ち	受信があるまで待機します。
		エラーを返す	エラー応答を返します。
		メール数を返す	メール数を返します。(0 件)

以降、操作したい内容に応じて、「20_メール関連」からライブラリをシナリオに配置します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.4 メール選択

受信メールを選択状態にすることで、選択されているメール情報の取得、および削除、状態の変更を行うことができます。

- ① ライブラリから「メール選択」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、受信したメールを選択した状態に変更します。
選択状態はメール管理タブで確認することができます。

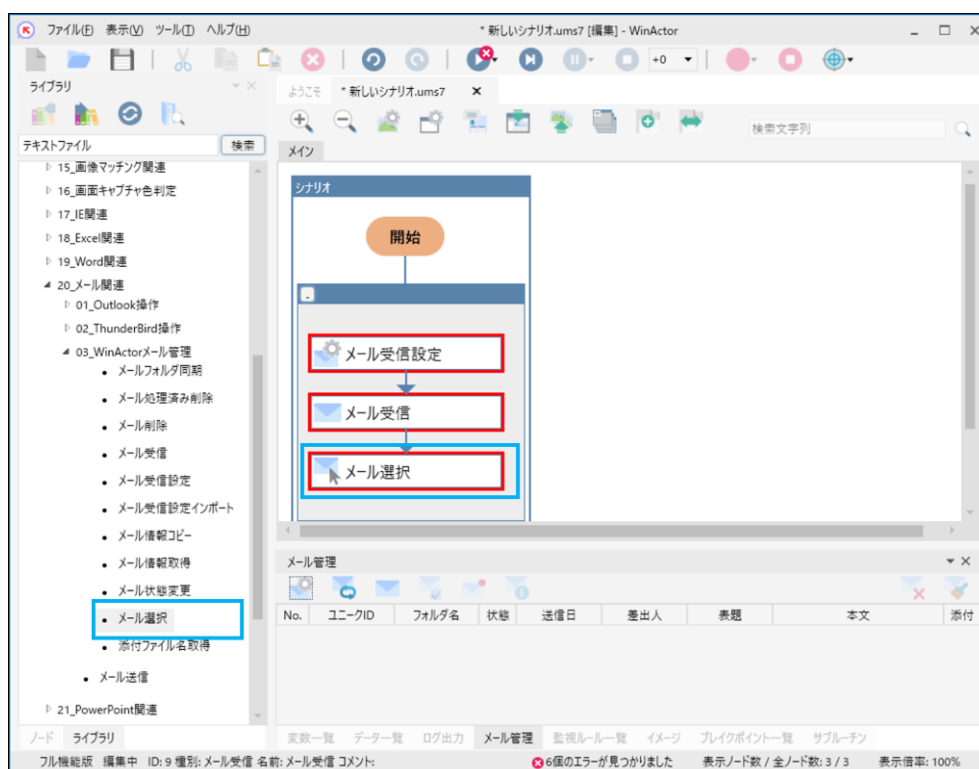
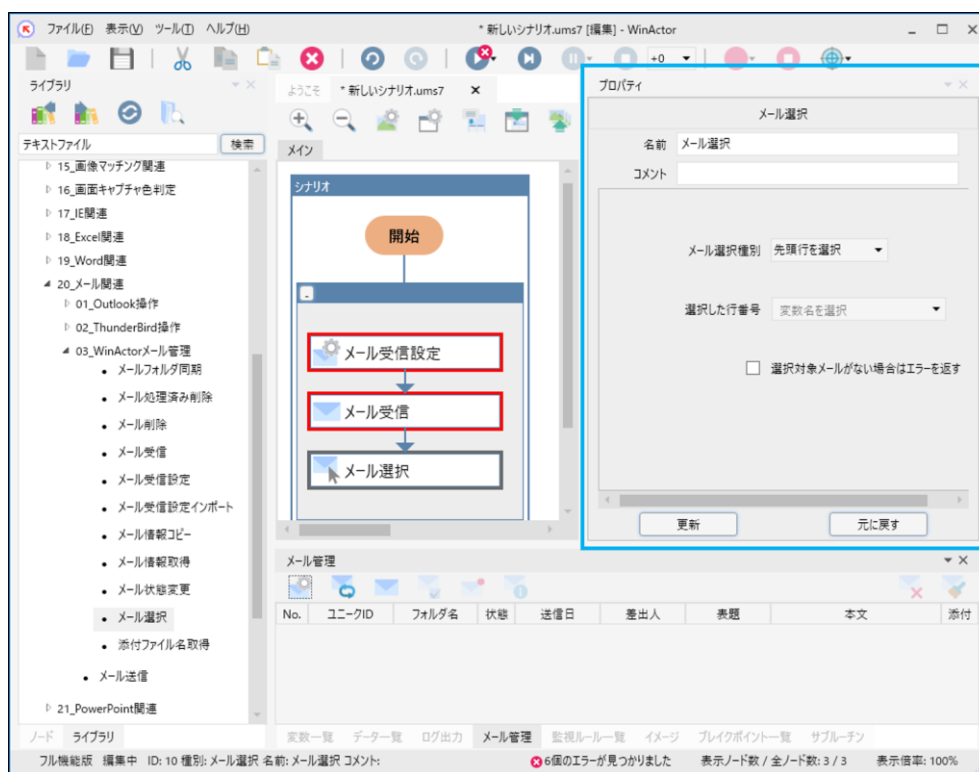


図 2-17 「メール選択」をシナリオに配置

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ② シナリオに配置した「メール選択」をダブルクリックしてプロパティを表示します。



WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-9 「メール選択」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	メール選択種別	メール選択する方法を下記より選択します。
		先頭行を選択 先頭行を選択します。
		未処理の先頭行を選択 未処理メールの内の先頭行を選択します。
		処理済みの先頭行を選択 処理済みメールの内の先頭行を選択します。
		次の行を選択 現在選択行を基準にして、次の行を選択します。※1
		次の未処理行を選択 現在選択行を基準にして、次の未処理メールを選択します。※1
		次の処理済み行を選択 現在選択行を基準にして、次の処理済みメールを選択します。※1
2	選択した行番号	選択したメールの行番号を格納する「変数名」を指定します。 ※2
3	選択対象メールがない場合はエラーを返す	チェックが入っている場合、メール選択できない時にエラーを返します。

※1 未選択状態もしくは複数行を選択している場合はエラーとなります。

※2「選択対象メールがない場合はエラーを返す」にチェックが入っていない状態で選択対象のメールが見つからなかった場合、選択位置は変更されず、「選択した行番号」には現在選択されている行番号が設定されます。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

2.5 メール情報取得

受信したメールの情報を取得する場合の説明をします。

メール情報を取得する際は、先に取得したいメールを選択する必要があります。(メール選択は、『2.4 メール選択』を参照ください)

- ① ライブラリから「メール情報取得」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、現在選択しているメールの情報を取得します。

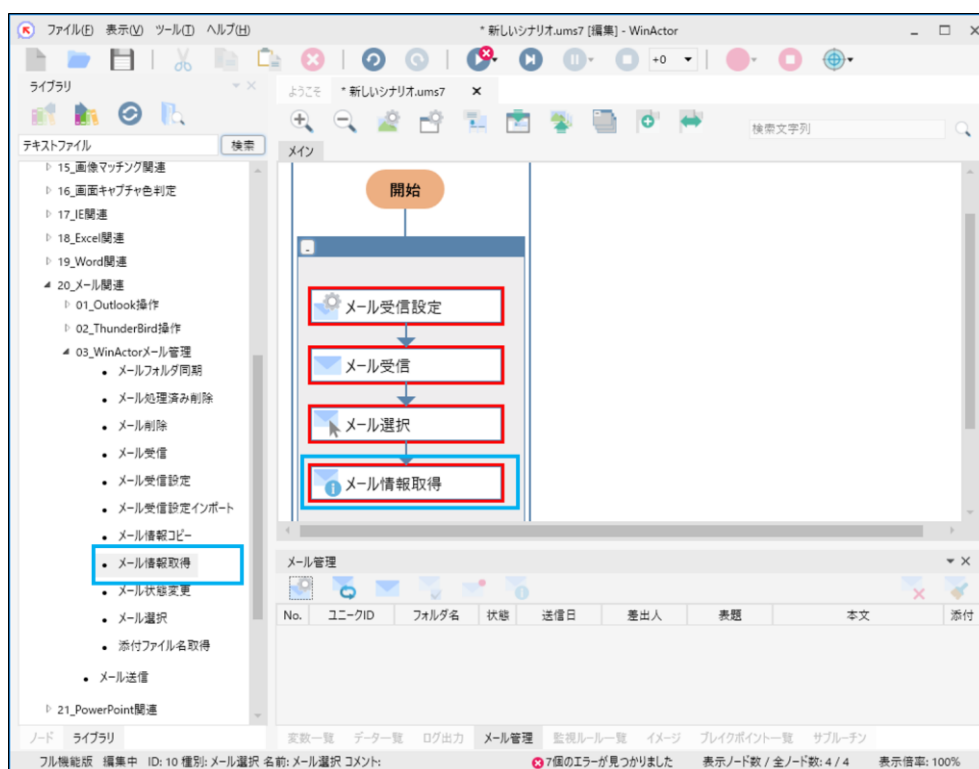


図 2-19 「メール情報取得」をシナリオに配置

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ② シナリオに配置した「メール情報取得」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

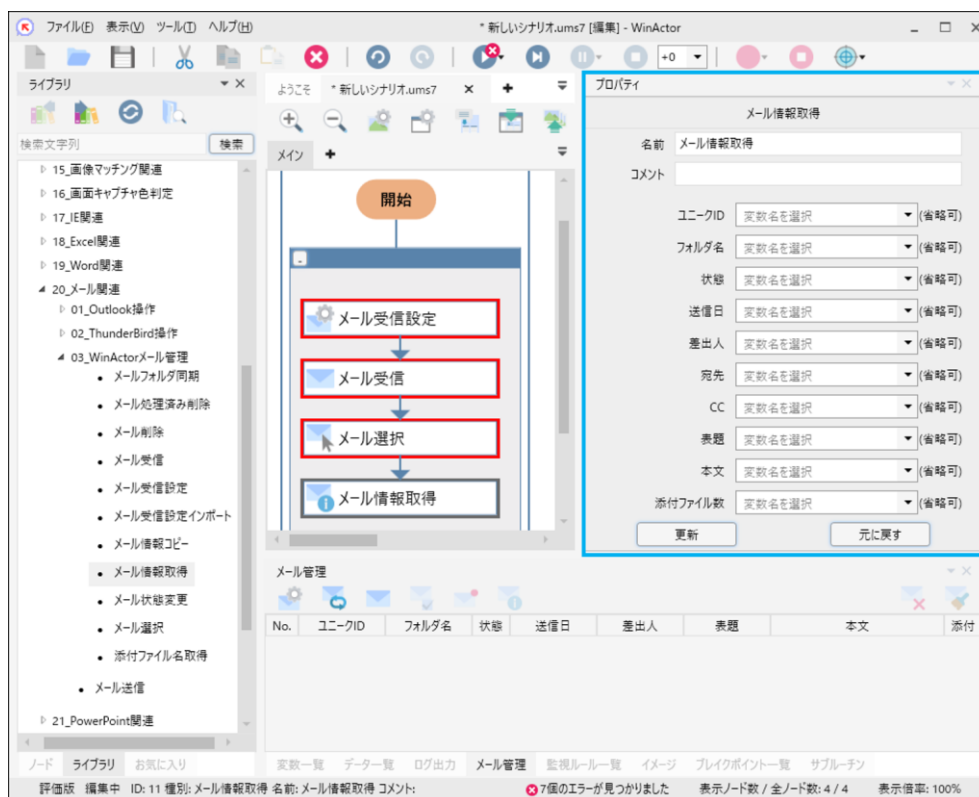


図 2-20 「メール情報取得」プロパティ

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-10 「メール情報取得」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	ユニーク ID	メールを一意に識別する ID を指定変数に設定します。
2	フォルダ名	メールが保存されているフォルダ名(絶対パス)を指定変数に設定します。
3	状態	メールの状態(未処理／処理済み)を指定変数に設定します。
4	送信日	メールの送信日時を指定変数に設定します。送信日時が存在しないメールは、受信日時が設定されます。 日付とタイムゾーンは、シナリオ情報で指定した日付形式、タイムゾーンが適用されます。
5	差出人	メールの送信元情報を指定変数に設定します。
6	宛先	メールの宛先を指定変数に設定します。 宛先が複数人の場合は「 , 」で区切られます。
7	CC	メールの CC を指定変数に設定します。 CC が複数人の場合は「 , 」で区切られます。
8	表題	メールの件名を指定変数に設定します。
9	本文	メールの本文を指定変数に設定します。
10	添付ファイル数	メールに添付されているファイルの数を指定変数に設定します。

- 対象のメールが html メールの場合、添付ファイルとして「attach_1.txt」が作成されます。

3 ライブラリ・プロパティの一覧

「20_メール関連」の「03_WinActor メール管理」以下で提供されるライブラリと、各ライブラリのプロパティ項目を示します。

3.1 メールフォルダ同期

メール管理画面と実際に受信したメール情報とを同期させる際に使用します。

シナリオ上で「メール受信設定」を実行している場合は、「メール受信設定」のプロパティ設定に従い同期を行います。

シナリオ上で「メール受信設定」が未実行の場合は、メール管理画面のメール受信設定に従い、同期を行います。

表 3-1 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メールフォルダ同期	—	—

3.2 メール処理済み削除

処理済みメールを削除させる際に使用します。

メール処理済み削除の実行前にはメール管理画面でメール受信設定を行うか、シナリオ中で「メール受信設定」、「メールフォルダ同期」または「メール受信」を実行する必要があります。

表 3-2 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール処理済み削除	削除したメール数	削除したメール件数を格納する「変数名」を指定します。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

3.3 メール削除

選択中メールを削除させる際に使用します。

メール削除の実行前にはメール管理画面でメール受信設定を行うか、シナリオ中で「メール受信設定」、「メールフォルダ同期」または「メール受信」を実行する必要があります。

表 3-3 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール削除	—	—

3.4 メール受信

メールを受信させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-8 「メール受信」のプロパティ項目一覧』を参照。

3.5 メール受信設定

メール受信に関する設定をさせる際に使用します。

プロパティ項目は、下記を参照。

『表 2-5 「メール受信設定(接続設定)」のプロパティ項目一覧』

『表 2-6 「メール受信設定(保存設定)」のプロパティ項目一覧』

『表 2-7 「メール受信設定(取得条件設定)」のプロパティ項目一覧』

3.6 メール受信設定インポート

メール受信設定をインポートさせる際に使用します。

「メール受信設定インポート」にてインポートした設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。

シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

プロパティ項目は、『表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧』を参照。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

3.7 メール情報コピー

選択中メールの情報をコピーさせる際に使用します。(クリップボードにコピーされます)

表 3-4 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目		説明
メール情報コピー	詳細情報		コピー対象の項目を指定します。
	1	ユニーク ID	メールを一意に識別する ID。
	2	フォルダ名	メールが保存されているフォルダ名。
	3	状態	メールの状態。(未処理／処理済み)
	4	送信日	メールが送信された日時。 送信日時がないメールは、受信日時が設定されます。日付とタイムゾーンは、シナリオ情報の日付形式、タイムゾーンで設定されます。
	5	差出人	メールの送信元アドレス。
	6	表題	メールの件名。
	7	本文	メールの本文。
	8	添付ファイル数	メールに添付されているファイルの数。

WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

3.8 メール情報取得

選択中メールの情報を取得させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-10 「メール情報取得」のプロパティ項目一覧』を参照。

3.9 メール状態変更

選択中メールの状態を変更させる際に使用します。

表 3-5 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール状態変更	メール状態変更種別	変更したい状態を指定します。
	1 未処理	受信した初期状態。
	2 処理済み	処理済みの状態。

3.10 メール選択

受信メールを一覧から選択させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-9 「メール選択」のプロパティ項目一覧』を参照。

3.11 添付ファイル名取得

添付ファイル名を取得させる際に使用します。

表 3-6 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
添付ファイル名取得	添付ファイル番号	添付ファイルの番号を指定します。 直接入力、または、変数で指定します。
	添付ファイル名	添付ファイル名を格納する「変数名」を指定します。



メール受信シナリオ作成 マニュアル

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright © 2013–2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

WA7-E-20250605
